

みんなでスタジアムへ応援に行こう!!



選手とトモニ闘おう!!

ホームは残り2試合!! 11.20(土) vs. 鹿島 14:00 kickoff ホームスタジアム神戸
11.27(土) vs. 清水 14:00 kickoff ホームスタジアム神戸

J1残留を争うライバルチームの「ラスト4試合」対戦表 (2010年11月15日 現在)

位	チーム	勝点 (得失点差)	第31節	第32節	第33節	第34節
2	仙台	37 (-3)	11/20(土) vs. 清水 ユアスタ(H) 14:00	11/23(火・祝) vs. 新潟 東北電力(A) 17:00	11/27(土) vs. 広島 広島ビ(A) 17:30	12/4(土) vs. 川崎F ユアスタ(H) 15:30
3	山形	36 (-14)	11/20(土) vs. 磐田 ヤマハ(A) 17:00	11/23(火・祝) vs. 京都 NDスタ(H) 19:30	11/27(土) vs. F東京 緑スタ(A) 17:30	12/4(土) vs. 鹿島 NDスタ(H) 15:30
4	大宮	34 (-10)	11/20(土) vs. 京都 西京橋(A) 19:30	11/23(火・祝) vs. 神戸 NACK(H) 17:00	11/27(土) vs. 新潟 NACK(H) 17:30	12/4(土) vs. 横浜FM 日産スタ(A) 15:30
5	F東京	32 (-3)	11/20(土) vs. 川崎F 味スタ(H) 14:00	11/23(火・祝) vs. 名古屋 豊田スタ(A) 14:00	11/27(土) vs. 山形 味スタ(H) 17:30	12/4(土) vs. 京都 西京橋(A) 15:30
6	神戸	30 (-13)	11/20(土) vs. 鹿島 ホームズ(H) 14:00	11/23(火・祝) vs. 大宮 NACK(A) 17:00	11/27(土) vs. 清水 ホームズ(H) 14:00	12/4(土) vs. 浦和 埼玉(A) 15:30

勝利:勝点3 ■引き分け:勝点1 ※既に湘南と京都がJ2降格確定、16位になる残り1チームがJ2降格となる

大詰めを迎えた2010シーズンのJ1リーグ戦で、神戸は今、崖っぷちに立たされている。34試合中30試合を終えて7勝9分け14敗勝点30の成績で、18チーム中16位。今季は過去最高の一桁順位を目標としていただけに、この順位は神戸にとって想定外だ。下位3チームが来季、J2へ自動降格するため、このままでは5年前に味わった屈辱を再び繰り返すことになる。クラブ15周年の節目に、それだけは絶対に避けたい。J1残留という使命を果たすため、残り4試合決死の覚悟で神戸の戦士たちは戦いに身を投じる。

改めて今季ここまでを振り返ると、日本代表の中心選手でもある主将のFW大久保嘉人をはじめ、シーズン前から主力に故障者が続出したこともあり、序盤から神戸は苦戦が続いた。開幕戦こそ快勝したものの、その後は勝てる試合を詰め、甘さからモノにできず、黒星を重ねたことで、チームは低迷。9月、当時最下位だった京都にアウェイで0-1と完敗した翌日にクラブは三浦俊也監督を解任し、和田昌裕ヘッドコーチを新監督に昇格。昨シーズンに引き続き、難局のなかでの舵取りを任された地元・神戸市出身の45歳の新指揮官のもとで建て直しを図ることになった。

和田新体制での神戸は、分け負け3連敗と結果が出せない日々も続いたが、10月末の第28節、G大阪との関西ダービーにて、高校生FW小川慶治朗のJ初得点などで4-2と逆転勝ちし、苦境から這い上がる。翌第29節には仙台に2-0と勝利。前節では鬼門だった新潟とのアウェイ戦に1-1と引き分けながら、この3試合

で勝点7を獲得。15位のF東京には勝点2の差をつけられているものの、J1残留に向けて望みをかけている。残り4試合、難敵が続くが、相手はどこであろうと犯す勝負を奪うだけ。神戸にとってここからが本場の正念場となる。

まず20日(土)の第31節、ホームスタジアム神戸に迎え撃つのは、3連覇中の王者・鹿島。勝点8差で独走する首位・名古屋を迫る鹿島の名古屋を迫る鹿島にとっても負けられない一戦であるため、相当なパワーを持って来ると思う。神戸の和田監督、それでも9得点を叩き出している神戸の最多得点者求ボは、ファイナルのような意気込みでやっていきたいと強い決意を見せる。昨年ホームでは大久保のゴールで鹿島を撃破した。全員のハードワークで王者を倒して



残り4試合。J1残留に向けて頑張れ!! ヴィッセル神戸!!

神戸魂



KEY PLAYER 大久保嘉人 13. Yoshito OKUBO / FW

今季は開幕前からケガに泣かされ続けた。2月に東アジア選手権で左ヒザを負傷。4月にはリーグ戦で鼻骨を骨折。夏場には疲労の蓄積でダウンし、傷んでいた左ヒザも手術。10月には一旦復帰するも、今度は左太ももを傷めて再離脱。まさに満身創痍の1年だった。

それでも、2007年の加入以降、大事なところでは必ず結果を出してきた神戸の絶対的エースは、今季もW杯前最後のホームゲーム磐田戦では値千金の豪快弾で勝利に導き、南アフリカW杯でも日本代表のベスト16入りに大きく貢献するなど、その存在感は群を抜く。神戸のJ1残留のためには「嘉人ゴール」が必要不可欠。チームを牽引し続ける13番に、勝利が必須の残り4試合、期待せずにはられない。

みんなの心はひとつ!!